

# クラッカーがはじけたような独特な花姿。

< 植物名 >

ベゴニア

球根ベゴニア (キューコンベゴニア)

ファイアークラッカー オレンジ'

水やり

用土の表面が乾いたら適度な水やりを。冬は控えめに。

置き場所

明るい室内などの半日陰へ。

用土肥料

開花中はリン酸分が多めの肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

分球

冬越し

冬越しは5~10 以上必要。室内の明るい場所へ(晩秋頃から休眠させる)。

使い方 鉢植え、ハンギングバスケット

学名 Begonia

英名

属名 シュウカイドウ

科名 シュウカイドウ

性状(分類) 球根植物

原産地 南米

花の色 橙

開花期 春~夏

購入時期

草丈 20~60 cm

ID 925

季節 春 夏

JFコード 58502



冬越しと置き場所

日向を好むが、生育適温が15~25 位の為、夏は直射日光を避け、風通しの良い半日陰で育てる。秋の終わり頃から休眠をさせて冬越しを。冬は5~10 以上必要で、室内の明るい場所で育てる。非耐寒性。

その他の解説

開花中は、リン酸分が多めの肥料を与えると、花付きがよくなり長期間楽しめる。花が終わったら切り戻して、次に花を付ける新芽を伸ばしてあげる。

特徴1

ハンギングバスケットにもおすすめ。土の表面が乾いたら水やりをする。冬は乾かし気味に管理する。

特徴2

ベゴニア属は約2000種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の3タイプに分けられる。ファイアークラッカーは花びらが細長く、クラッカーがはじけたような独特な花姿。ハンギングバスケットにもおすすめ。